

廃棄物処理等科学研究費補助金（競争的資金）

1,135百万円（1,261百万円）

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

1 事業の概要

循環型社会形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する研究並びに次世代型の循環型社会形成推進及び廃棄物適正処理技術の開発に関する課題を公募・採択し、これらの研究・開発を推進することにより、循環型社会形成の推進・廃棄物の安全かつ適正な処理等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図る。

事業の概要と対象とする分野については、次のとおり。

項目	研究事業	技術開発事業
事業名	<u>循環型社会形成推進研究</u>	<u>次世代循環型社会形成推進技術基盤整備</u>
対象	<p><u>循環型社会形成、廃棄物の適正処理等の推進が期待できる研究を対象</u></p> <p>【一般テーマ研究】 循環型社会構築、廃棄物処理に伴う有害化学物質対策、廃棄物の適正処理の研究</p> <p>【重点テーマ研究】 3R推進に係る研究 廃棄物系バイオマス利活用研究 循環型社会構築を目指した社会科学的複合研究 漂着ごみ・アスベスト廃棄物対策に係る研究 等</p> <p>【若手育成型研究】 若手研究者を対象</p> <p>【バイオマス特別枠】 <u>バイオマスの高効率利用技術の研究及び地域に即したモデルの設計手法の研究</u></p> <p>【3Rイニシアティブ特別枠】 アジア等国際的な地域レベルでの3Rシステム構築のための研究</p>	<p><u>実用化が見込まれ、既に基礎研究、応用研究を終えた技術開発を対象</u></p> <p>【一般テーマ技術開発】 循環型社会構築技術、廃棄物リサイクル技術、廃棄物の適正処理技術の開発</p> <p>【重点テーマ技術開発】 3R・エネルギー回収推進技術開発 アスベスト廃棄物無害化技術開発 漂着ごみ対策技術開発 廃炉解体技術開発 廃棄物系バイオマス高効率利用技術開発</p>

2 事業計画

毎年度、公募により研究テーマ、開発技術を募り、学識者である委員により評価を行い、評価の高い課題を選定し補助対象とする。

3 施策の効果

循環型社会の実現に貢献。

産業の発展とそれに伴う雇用創出が見込まれる。

アジア地域等国際的な地域レベルでの3Rシステムの構築に資する。

アスベスト廃棄物の無害化処理等の技術水準の向上。

温室効果ガスの削減に貢献。

4 備考

補助金 1,135,000千円

(内訳)

循環型社会形成推進研究費	901,202千円
循環型社会形成推進研究推進事業費	31,798千円
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	202,000千円

廃棄物処理等科学研究費補助金による研究・技術基盤整備

循環型社会形成推進研究事業

< 事業の対象 >

- 「バイオマス特別枠」(案)
草木質系の廃棄物系バイオマスを高効率にエネルギー-利用するシステムの研究開発
地域における廃棄物系バイオマスの循環利用を実現するモデルの設計手法の研究開発
- 「3R・エネルギー特別枠」
アジア等国際的な地域レベルでの3Rシステム構築研究
- 「重点テーマ研究」(案)
トップダウン方式による3R実践のための複合的プロジェクト
3R・エネルギー-回収推進のための研究開発
国際3R対応の有用物質利用・有害物質管理技術の研究開発
循環型社会構築を目指した社会科学的複合研究
廃棄物系バイオマス活用技術・システムの研究開発
漂着ごみ・プラスチック廃棄物対策に関する研究開発
- 「一般テーマ研究」
廃棄物処理に伴う有害化学物質対策研究
廃棄物適正処理研究
循環型社会構築技術研究
- 「若手育成型研究」
一般テーマ研究と同様の内容について、若手研究者を対象

次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業

< 事業の対象 >

- 「重点テーマ技術開発」(案)
3R・エネルギー-回収推進のための技術開発
プラスチック廃棄物の無害化処理技術開発
廃炉解体の低コスト化技術開発
塩分を含む等処理困難な漂着ごみの処理技術開発
廃棄物系バイオマス活用技術開発
- 「一般テーマ技術開発」
廃棄物適正処理技術
廃棄物リサイクル技術
循環型社会構築技術

対象者：個人（研究機関に属する研究者）
事業期間：3年以内
交付額：年度ごとに1億円以内、対象額の100%以内

H20予算(案)額：
あわせて1,135百万円

対象者：法人
事業期間：1年
交付額：1億円以内、対象額の50%以内

環境と調和する循環型社会の実現
環境行政の施策支援、技術水準の向上

